

大腸癌術後フォローアップ方法に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2019年9月4日～2020年12月31日

〔研究課題〕

大腸癌データベースの構築とデータベースを利用した大腸癌の臨床病理学的特徴および術後の至適フォローアップ方法の検討に関する多施設共同後ろ向き観察研究

〔研究目的〕

この研究では、大腸癌患者さんの臨床病理学的情報を多数集積したデータベースを作成し、そのデータベースを解析して、大腸癌の特徴を明らかにするとともに、大腸癌患者さんに対する最適な治療や検査方法について検討します。

〔研究意義〕

得られた成果は、大腸癌の日常診療において応用できる可能性があり、今後の大腸癌診療の発展に貢献するものと思われれます。

〔対象・研究方法〕

1997年1月1日から2013年12月31日までに、当院または共同研究参加施設で原発性大腸癌に対する切除術を行った患者さんを対象とします。患者さんの診療録から、「年齢」、「性別」、「既往歴」、「家族歴」などの基本情報、「手術術式」、「リンパ節郭清度」、「術後抗癌剤投与の有無」などの治療情報、「病理診断」などの大腸癌情報、「再発の有無」などの予後情報などの項目を抽出しデータベースを作成します。共同研究参加施設から集めたデータを統合し大腸癌データベースを作成します。さらにその大腸癌データベースを利用して、本研究の主目的となる解析（大腸癌の特徴の解明、大腸癌患者さんに対する最適な治療や検査方法の探索など）を実施します。

〔研究機関名〕

東京医科歯科大学医学部附属病院大腸・肛門外科を代表とする、帝京大学医学部附属病院 下部消化管外科を含む多施設共同研究として行われます。

〔個人情報の取り扱い〕

データ収集では、個人情報が漏洩しないように、研究用IDを付与し、さらに個人が特定されるような情報を除外した匿名化された情報を用います。完成したデータベースは研究用IDを削除した上で、復元不可能な情報として各研究施設に配布し、厳重に保管しながらデータの解析を行います。

〔その他〕

この研究に参加することによる費用はかかりません。また謝礼もございません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者:橋口陽二郎 帝京大学医学部外科学講座 教授

研究分担者:土屋 剛史 帝京大学医学部外科学講座 助教

住所:東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211 (代表) [内線 7259]